



乾季のパンガン島、28°Cの休日



Written by Written by Sales Dept. Toshio Hayashi

もう2月も終わりに近づいておりますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。営業の林です。少し遡って年末年始の話になりますが、タイ旅行(パンガン島メイン)の近況をお送りします。

ルートは、成田→バンコク→サムイ島→パンガン島→バンコク→成田。乾季のこの時期は体感28°Cほどで、とても過ごしやすい暑さでした。パンガンは“パーティーアイランド”としても有名ですが、海だけでなく島の内側にジャングルの気配もあって、自然の豊かさが印象に残りました。

久々のタイで現実を感じたのは物価。バンコクはまだ安い所もあった一方、島の方はリゾート価格で日本とそこまで変わらない場面も。円安パーツ高もあって、「同じ感覚で使うと、あっという間」を何度か味わいました。

それでも、パンガン島はバイクで巡りやすい“ちょうどいい広さ”。気になった道を曲がってビーチをはしごして、最後はサンセット。予定が雑でも成立するのが島の強さだなと思いました。一度スマホの充電が切れた妻がはぐれ、とても怒られました。

旅の楽しみとして外せなかったのがタイマッサージ。歩いたりバイクに乗ったりで固まった体が、ちゃんと“元に戻る”感じがします。自分へのお土産粹として今回もきっちり。

食事は屋台が立ち並ぶ市場へ。食べ歩きが最高でした。お気に入りカオソーイ(タイ北部のチェンマイ名物のカレー味ヌードル)。今回はサムイ島でもパンガン島でも食べましたが、特にサムイで食べたこの店が一番でした。

カオソーイは麺が2種類。スープの中の“しっとり麺”と、上にのった“カリカリの揚げ麺”で食感が切り替わって、飽きる暇がありません。

……と余韻に浸りたいところでしたが、帰国した日に職場の集まりがあり強制的に現実に引き戻されました。スマホの写真フォルダだけが、旅の証拠です。

寒い日が続きますので、みなさまどうぞご自愛ください。またゆるっと近況をお送りさせていただきます。



ハリオサイエンス 株式会社

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9-3
<https://www.harioscience.com>
TEL.03-6861-5602 FAX.03-6861-5603